

# 平成24年第3回高山市議会定例会 一 般 質 問

◎一般質問の順序

| 月 日      | 議 員 名       | 質問方式 | 会 派 名     | ページ |
|----------|-------------|------|-----------|-----|
| 6月12日(火) | 1. 岩垣和彦 議員  | 一問一答 | 市 民 ネ ッ ト | 1   |
|          | 2. 小井戸真人 議員 | 一問一答 | 市 民 ネ ッ ト | 3   |
|          | 3. 倉田博之 議員  | 一問一答 | 新 風 会     | 5   |
|          | 4. 水門義昭 議員  | 一問一答 | 新 風 会     | 7   |
|          | 5. 藤江久子 議員  | 一問一答 | 新 風 会     | 8   |
|          | 6. 谷澤政司 議員  | 一問一答 | 新 風 会     | 10  |
| 6月13日(水) | 1. 中田清介 議員  | 一問一答 | 新 風 会     | 12  |
|          | 2. 若山加代子 議員 | 一問一答 | 無 会 派     | 14  |
|          | 3. 松山篤夫 議員  | 一 括  | 無 会 派     | 15  |
|          | 4. 山腰恵一 議員  | 一問一答 | 高山市議会公明党  | 16  |
|          | 5. 中笈博之 議員  | 一問一答 | 高山市議会公明党  | 18  |
| 6月14日(木) | 1. 北村征男 議員  | 一問一答 | 高山市政クラブ   | 20  |
|          | 2. 溝端甚一郎 議員 | 一問一答 | 高山市政クラブ   | 21  |

◎質問時間等については以下のとおりです。

①一問一答方式：議員の質問のみで40分。質問回数は制限なし。

②一括質問方式：議員の質問のみで40分。質問回数は5回まで。

※①、②とも反問に要した質問及び答弁の時間は持ち時間に含めない。

◎一般質問の内容は次のとおり通告されています。

【岩 垣 和 彦 議員】（一問一答）

1. 市長公約の進捗状況について

（1）景気回復を最重要課題として取り組むことについて

- ①緊縮財政から積極財政への転換は実施済みとされるが、財政出動の捉え方が理解されているか
- ②公共工事の地元優先発注は、地元業者の理解は得られるが課題は残っていないか
- ③大型プレミアム商品券は発行されているが、景気回復をどのように促したか

（2）市民の生活と生命・財産を守ることについて

- ①危機管理室は設置されたが、有事の際の対策は万全か
- ②総合相談窓口は設置されたが、市民の生活不安は解消されているか

（3）将来を担う子どもを守り育てることについて

- ①待機児童ゼロの保育整備については、以前からゼロであったのではないか
- ②「35人学級」については、「人数だけの問題でない」とされるが、国や県に対し継続的に要望されることとの整合性はとれるのか

（4）将来を見据えた今必要な行政改革の断行について

- ①人口減少対策を担当する専門部署を創設されているようだが、具体的な対応は
- ②公共工事の発注方法、入札方法の再検討、正常化については、100%達成済みなのか

(5) 公約の進捗状況における達成率を数値で表記されることについて

- ①年間観光客76.2%、外国人観光客62.3%の表記方法は妥当なのか
- ②農業生産額250億円を目指すことについて、77.2%の表記方法は妥当なのか
- ③肉用牛飼育頭数4千頭を目指すことについて、87.5%の表記方法は妥当なのか

(6) 市長公約と総合計画の関係について

- ①111項目が市長公約とされているが、総合計画との優先順位についてどのように捉えるのか
- ②市長の公約達成のために職員の業務が増大することについて、総合計画への取り組みに支障が出ることはないか
- ③公約達成度を第三者機関を介して評価する考えはないか

【小井戸真人 議員】（一問一答）

1. 地方自治法の改正と総合計画及び各種計画について

（1）基本構想の策定義務の廃止

- ①「基本構想の策定義務の廃止」に関する高山市の考え
- ②「高山市議会の議決すべき事件を定める条例」に関する高山市の考え

（2）総合計画と各種計画

- ①地方自治法の改正を受けて総合計画と各種計画による政策体系をどのように設計するか
- ②市長マニフェストと総合計画の関係

2. 市民参加のまちづくりについて

（1）市民参加の仕組みづくりについて

- ①市民意見の反映の状況
- ②市民参加のまちづくりの必要性
- ③市民参加のまちづくりの課題

（2）パブリックコメント条例について

- ①検討状況
- ②課題について

（3）自治基本条例について

- ①検討状況
- ②課題について
- ③市民参加条例の有効性について

### 3. 職員の英語力の向上について

#### (1) 高山市第3次人材育成基本方針について

- ①職員の英語力を向上させる必要性
- ②高山市第3次人材育成基本方針での位置づけ

#### (2) 研修の実施について

- ①目標とする基準に到達するための学習量
- ②研修の対象者

#### (3) 管理職試験の受験資格について

- ①職員登用への影響
- ②職員意識への影響
- ③英語力は試験における加点要素とするべきではないか

【倉 田 博 之 議員】（一問一答）

1. 土砂災害警戒区域等の指定について

（1）区域の指定に至るまでの順序と段階について

- ①指定までの流れと現在の段階、指定時期及び規制の発効はいつか
- ②県の意見聴取に高山市長が付する意見はどういったものか

（2）市民生活への影響について

- ①指定対象となる市民の日常生活への影響をどうとらえているか
- ②不動産取り扱い業界への影響をどうとらえているか
- ③違反行為に対する罰則はどういったものか
- ④市民の不安や相談に対し、市は窓口として機能していただけるのか

（3）安全性の確保について

- ①今回の指定により安全確保のレベルは向上するのか
- ②対象区域内に高山市が保有している施設や造成地はないのか

（4）特別警戒区域内にある住宅等の移転推進にかかる取り組みについて

- ①危険区域からの住宅等の移転推進を図るべきではないか
- ②移転推進への支援制度はないという県の説明は本当か
- ③国の「がけ地近接等危険住宅移転事業」を利用する方向性はないのか
- ④市単独での上乗せ制度やその他制度との重複活用などで移転支援制度を充実できないか

## 2. 高山市独自の車両番号標の導入について

### (1) 「ご当地ナンバー」導入の取り組みについて

- ①国による「ご当地ナンバー」許可条件の緩和と現状について
- ②「飛騨高山」ナンバーの申請と許可の可能性はどうか

### (2) 「自治体デザインナンバープレート（ご当地プレート）」導入の取り組みについて

- ①「ご当地プレート」とその効果・利点について市の認識はどうか
- ②「ご当地プレート」導入について積極的に取り組むべきではないか

【水 門 義 昭 議員】（一問一答）

1. 【がんばる高山】に対する支援組織づくりについて

（1）高山出身者等へのアプローチについて

- ①ふるさと納税の現状とその対応策について
- ②岐阜県人会・飛騨会の現状と高山市出身者のみの会はあるのか

（2）大学などとの連携について

- ①大学などの協定先などのまちづくりや市民活動、生涯学習面への支援体制について
- ②大学などの協定先などの学校教育面への支援体制について

（3）高山市民以外からの意見について

- ①日本再発見塾 i n 飛騨高山の成果について
- ②高山市民以外から見た高山市についての意見をどのように取り入れるか

（4）外部ブレーンの組織化について

- ①飛騨高山観光大使・ファンクラブについて
- ②仮称「飛騨高山まちづくり支援大使・飛騨高山大使」（外部ブレーン）の設置について

【藤 江 久 子 議員】（一問一答）

1. 男女共同参画社会構築に向けて

（1）「家事は女性がするものである」の概念が社会に及ぼす課題について

①高齢者の介護問題にかかる性別役割分担について

（2）今年度の具体的な施策について

①今年度の計画とその成果について

②懇話会の意義について（ご意見をどう生かしていけるのか）

③婚活における男性セミナーについて

2. 第5期介護保険事業計画の執行について

（1）緊急ショートステイの創設

①昨年の福祉保健委員会における意見として、「緊急ショートステイの創設は、在宅介護支援の大きな柱になる。」があったが、その後の進捗状況は

（2）特養老入所基準の見直し

①第5期計画において入所施設の124床分の増床が示されたが、アンケート調査による「144名の1年以内に入所させたい要介護者」が本当に入所できる入所基準となっているのか

②市民の「困った感」が本当に解消されるのか疑問であり、見直しについて今後の考えは

（3）サービスの質の確保と向上

①措置制度から契約制度への移行を受け、行政が入所やサービス内容にかかわりが薄くなった現況の中、サービスの質の確保と向上をどう目指していけるのか

### 3. 地産地消をどう推進していくのか

#### (1) 地産地消と流通について（現況）

- ①地元産品の認識について
- ②高山市の飲食業者等は地元食材をどう入手しているのか
- ③「地産地消率」の考え方について

#### (2) 何が課題となっているのか

- ①食文化と観光の在り方について
- ②流通の在り方について
- ③学校給食における課題について

#### (3) 今後の方策は

- ①高山市地産地消推進計画について
- ②（仮称）飛騨フードマッチング事業について

【谷 澤 政 司 議員】（一問一答）

1. 海外からの医療・観光ツアーについて

（1）市内の総合病院でのPET（ペット）、CT等を利用した、人間ドック検査と観光を合わせたツアーで誘客を図る

①最新鋭高度がん組織の検査機PET（ペット）が飛騨で初導入された。この機会に医療も含めた新しい誘客に取り組み、海外からの富裕層を呼び込み医療及び観光産業への経済効果を図れないか

2. 障がい者にやさしいまちづくりについて

（1）第12回全国障害者スポーツ大会について

①高山市の出場選手には、どのような激励を考えているのか

②あと約110日だが、市民の盛り上がりはどうか

③高山市の「誰にもやさしいまちづくり」「バリアフリーのまちづくり」は全国的にも先進的な取り組みで高い評価を受けているので、高山市への誘客対策を講じてはどうか

（2）障がい者に対する市の就労支援対策について

①就労相談の状況と課題は

②障がい者及び就労支援事業所では、常時雇用につながるハローワークのトライアル雇用（障害者試行雇用）奨励金が支給されず困っているため、市としての代替え支援についての考えは

③長引く景気悪化が続いており働く場の確保が困難であるため、高山市では緊急雇用の他にも独自に就労確保を行う考えについては

### 3. 荘川診療所について

#### (1) プライバシーの確保について

- ①市長と市民との対話集会及び議会の市民意見交換会では、待合室が狭いという声があがっているが対応は講じているのか
- ②この事業は補助事業であるため、当面は増改築ができないが、例えば仮設のプレハブ等を設置して住民のプライバシー保護に取り組む考えは

【中 田 清 介 議員】（一問一答）

1. 下げ止まらぬ地価の動向に、高山市はどう対処するのか（経済活動への影響とまちづくりについて伺いたい）

（1）経済活動への影響と財政への影響（今どんなことが問題となっているのか）

- ①資産価値の減少に伴う経済活動の萎縮に問題はないか
- ②金融機関の貸し出しへの対応に変化はないのか
- ③主要課税客体としての固定資産税への影響をどう受け止めているのか
- ④高山市に於いて負担調整率の改定効果はあるのか
- ⑤土地利用計画や土地利用調整などでの政策は、地価対策に有効に機能するのか

（2）今後のまちづくりへの影響と課題（どう対応していくのか）

- ①持続性あるまちづくりへの望ましい税収構造と産業構造について
- ②直接地価の下落に対する政策が打てないなかで、問われているのは政策調整機能ではないか
- ③広範な政治課題としてとらえられているのか
- ④何で稼ぎ、どう雇用を守るかの観点からは起業支援の充実が重要なのではないか
- ⑤重要性を増すのは若者定住への視点からの政策展開ではないか

（3）行政は総合力を発揮して政策を打てるのか

- ①市長公約の産業活性化夢基金は骨格が固まったのか
- ②参考となる池田泉州銀行の取り組みと産業振興ファンドについての考え
- ③起業支援融資とファンドの関係について高山市はどうとらえているか

## 2. 高山市の事業評価と予算編成

### (1) 一次評価と二次評価について

- ①時系列での調整と発表時期について
- ②評価シートの今後の見直しはあるのか
- ③担当課の主要施策についての予算要望と予算編成について
- ④担当課におけるPDCAサイクルは機能していくか

## 3. 山野草とその癒し効果について

### (1) 公園管理と山野草

- ①城山公園管理における市民からの要望（群生地保護と草刈り時の配慮がほしい）

### (2) 沿道花壇作りの取り組みとその癒し効果

- ①高根地区の評価と今後の課題
- ②平成19年9月議会の丸山議員への答弁があるがその後の対応について伺いたい

【若山加代子 議員】（一問一答）

1. 障がい者が暮らし続けられる街づくりについて

（1）要援護者の把握について

- ①要援護者の登録の状況について
- ②制度の周知について

（2）災害時要援護者支援計画について

- ①計画策定の進捗状況について
- ②対象者についての考え方
- ③支援者についての考え方

2. 通学路の安全点検と整備について

（1）安全点検について

- ①安全点検の基準は
- ②いつまでに何か所行うのか

（2）整備について

- ①いつまでにどのように整備していくのか

3. 国民健康保険料の引き下げについて

（1）一般会計からの繰り入れについて

- ①繰り入れの考え方について
- ②増やすことで保険料を引き下げる考えは

【松 山 篤 夫 議員】（一 括）

1. 森林・林業の再生策について

（1）「土佐の森方式」について

①「土佐の森方式」を個人や小規模の林家に対する基本政策に取り入れることへの見解は

（2）間伐材や林地残材の活用策について

①木材活用工場の育成または誘致への見解は

②チップ原料としての資源活用は

③針葉樹の薪作りは

（3）高山市の林家の現状について

①個人を中心とした林家の問題への具体的施策は

②高山市の林地残材の現況とその具体的活用は

2. 観光事業の傾向と対策について

（1）観光の経済的波及効果について

①高山市の経済における観光業の占める位置は

（2）国内観光客の減少について

①高山市の観光におけるシルバー世代とヤング層の高山市訪問の状況と今後の見通しは

（3）外国人観光客対策について

①昇龍道プロジェクトが市民にどの程度周知されているのか

②上海において、市長は高山をどのように売り込むのか

【山 腰 恵 一 議員】（一問一答）

1. 通学路の安全対策

（1）通学路の環境整備について

- ①先般の度重なる事故を踏まえ、ハード面（道路環境整備）については
- ②通学路上の樹木の伐採に関する対応について

（2）安全確保について

- ①安全確保する為のソフト面（学校、警察、地域、保護者）の一体的な取り組みについて
- ②通学路の安全総点検について

2. 職員の寒冷地手当について

（1）寒冷地手当の廃止について

- ①寒冷地手当の支給根拠について
- ②地域の実情にあった手当なのか

3. 高齢者への思いやりの施策について

（1）介護保険制度の拡充について

- ①介護保険サービス未利用者の現状について
- ②介護保険返戻地域活性化事業（仮称）について

#### 4. スポーツを通じた新たな観光交流について

##### (1) 第1回飛騨高山ウルトラマラソンについて

- ①経済効果と評価について
- ②ボランティア参加状況と市民の盛り上がりは
- ③観光課とスポーツ推進課との連携は

##### (2) スポーツツーリズムについて

- ①スポーツツーリズムの今後の推進について
- ②スポーツコミッションとの連携について

【中 箴 博 之 議員】（一問一答）

1. 公共施設のマネジメントについて

（1）遊休施設の利活用

- ①公有財産活用方針における個別の処分計画はきちんと運用されているのか
- ②遊休施設処分の進捗状況はどうか
- ③徹底した市有財産の洗い出しが必要ではないか
- ④処分に当たっては実勢価格で対応すべきではないか

（2）公共施設白書

- ①公共施設白書策定の研究は進んでいるか
- ②指針・個別計画への取り組みは

（3）高山市民文化会館の将来像

- ①文化会館の利用状況は
- ②非構造材の耐震化スケジュールは
- ③利用者の声など、機能面における課題把握はできているか
- ④長期的展望に立った将来像の検討は

（4）節電対策

- ①電気料金に占める照明・空調等の割合は
- ②LEDによる節電効果の見込みは
- ③新しい技術を積極的に取り入れる考えは
- ④特定電力事業者からの電力供給は

## 2. 24時間電話医療相談について

### (1) 内容と効果の検証

- ①導入目的と実績は
- ②利用状況の分析は
- ③3年間の効果の検証は
- ④安心の確保のため、もっと市民にPRすべきでは

## 3. 奨学金の拡充について

### (1) 申請手続きと採用の決定

- ①今年度の応募状況は
- ②健康診断書の添付は必要か
- ③所得制限の説明が不十分ではないか
- ④結果の通知に配慮が必要ではないか

### (2) 今後の制度拡大

- ①採用枠の拡大を検討しないのか
- ②就学資金に対する支援制度を設けられないか
- ③合格を果たせず次を期す受験生にも枠を拡げられないか

【北 村 征 男 議員】（一問一答）

1. 地域農業を守る為の取り組み

（1）農地・水保全管理支払交付金事業について

- ①この保全管理に係る団体はいくつか（共同活動支援団体、向上活動支援団体別に）
- ②高山市の当初予算は23年度30,460千円、24年度51,620千円の約69.5%増だ。全体事業費はそれぞれいくらか
- ③計画地の道路は市道となっている為、この事業は使えない。この整備計画農道を市道から除外出来ないか
- ④農道整備が出来れば市道として基盤整備部での対応になると思う。新設舗装対応は出来るのか
- ⑤合併特例債も無くなる中、例えば地域振興特別予算を残しても今までと違い予算も少なくなる。この事業を利用すべきでないのか

2. 消防体制について

（1）常備消防について

- ①現行職員体制11名での能力向上と言われているが、分署や出張所での訓練等は充分行われているのか
- ②救急や災害時には最も近い車両を出動させると言われるが、署所間で11名体制の中、そんな救援出動は出来るのか

（2）消防団について

- ①協賛店制度があるが利用度はどうか
- ②市職員で消防団への入団該当者はどれくらいいるのか。市職員採用時に入団を勧められないか

【溝端 甚一郎 議員】（一問一答）

1. 美しいまちづくり

（1）植樹の取り組み

①さくらの植樹を推進する考えはないか

（2）高山市の花コバノミツバツツジ

①高山市の花になった訳は

②高山市の花として、植樹を推進する考えはないか

2. 鳥獣の被害

（1）イノシシの対策

①多くの地域で講習会を行ってはどうか

②モデル地区はどこか

（2）サルの対策

①現在のモンキードックは何匹いるのか

②今年の養成目標は

③サルに発信器を取り付ける考えはないか

④ビニールパイプによる花火での撃退を考えているか

### 3. 教育指導

#### (1) 武道の必修化

- ①選択の自由は
- ②選択された訳は
- ③時間数はどのくらいか
- ④指導者は
- ⑤教員の負担は

#### (2) 23年度県の優秀校

- ①今年度の指導目標は